



健康診断

ガイドブック



阿梨花病院大津

目次



1. 検体検査

血液一般	――	P2
肝機能	――	P2
糖代謝	――	P2
脂質代謝	――	P3
尿検査	――	P3

2. 身体形態系検査

身体計測	――	P4
メタボリック判定	――	P4
感覚器系検査	――	P5
聴力	――	P5
視力	――	P5

3. 循環器系検査

血圧	――	P5
心電図	――	P5
呼吸器系検査	――	P6
胸部X線検査	――	P6

4. ご案内

検体検査



血液一般

● 赤血球数

身体に酸素を運ぶ血球成分です。少ない場合は貧血を、多い場合は多血症を疑います。

● ヘモグロビン

赤血球の中に含まれる酸素を運ぶ成分です。低下すると貧血症状が生じます。

原因として胃・十二指腸など消化管からの出血、女性の生理出血の異常等にも注意して下さい。その他、鉄分不足や腎性貧血、血液疾患等が原因となることがあります。

肝機能等

● AST

心臓・肝臓・筋肉などの臓器に存在する酵素です。これらの臓器が障害を受けると、この酵素が血液中に放出され、値が高くなります。

● ALT

ASTと同じように身体の様々な臓器に存在しますが、ALTは主に肝臓に多く存在しています。ASTとALTの両方が高いとき、あるいはALTのみが高い場合には肝障害の可能性が高くなります。

● γ -GTP

タンパクを分解する酵素の1つです。肝臓や胆道の病気で高くなります。アルコールの影響で高値になりやすく、常習飲酒による肝障害の指標になります。また、食べ過ぎ等で肝臓に脂肪が蓄積すると上昇します。

糖代謝

● 空腹時血糖

血液中のブドウ糖は身体の大切なエネルギー源です。食後には血糖が上昇しますが、すい臓の酵素(インスリン)で低下します。糖尿病でインスリンの作用が不足すると血糖値は上昇します。

検体検査



脂質代謝

● LDL-コレステロール

血中のLDL-コレステロールの増かは動脈硬化の危険因子です。栄養の摂りすぎに注意して、体重を適正に保つように努めて下さい。肥満でないのに非常に高い値が続くときには病院を受診して下さい。

● HDL-コレステロール

動脈の壁に付着したコレステロールを再び血液中に洗い流す働きがあるため善玉コレステロールと呼ばれます。これが高いと動脈硬化に予防的に働き、低いと動脈の壁へのコレステロール沈着が増え、動脈硬化の進行が早まります。

● 中性脂肪

高カロリー食やアルコールの過飲などで過剰にとられたエネルギーは中性脂肪として貯蔵され、さらに増加すると皮下脂肪や肝臓に蓄えられます。

これが高くなると、内臓脂肪の増加や脂肪肝の原因となります。



尿検査

● 尿蛋白

尿中に蛋白が排泄される場合は、体質的なものや一時的なものがありますが、胃炎やネフローゼ症候群、糖尿病などが疑われます。

● 尿糖

尿中のブドウ糖の有無を調べ、陽性の場合は糖尿病、腎機能障害を疑います。

● 尿潜血

尿路系の炎症(膀胱炎・尿道炎・腎炎など)、尿管結石などで陽性になります。

身体形態・機能検査

身体計測

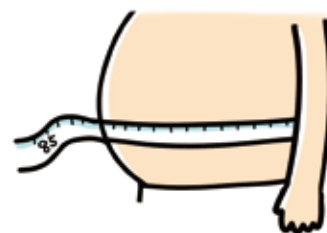
身長・体重・BMI・標準体重

BMI(体格指数Body Mass Index):肥満の程度を示したもの

BMI (kg/ m ²) 【基準値:22】	異常なし	要経過観察 (生活改善・再検査)
	18.5~24.9	18.4以下、25.0以上

メタボリック判定

食べ過ぎや運動不足によって内臓脂肪は溜まりやすくなります。内臓脂肪は健康への悪影響が大きく、高血圧症・高脂血症・糖尿病などの病気を発症することがあります。また、動脈硬化が進み、心筋梗塞や脳梗塞等のリスク要因になります。



メタボリック症候群の判断基準

1. 腹囲:おへその高さでウエスト周囲径 男性(85cm以上)、女性(90cm以上)
2. 脂質異常症:中性脂肪150mg/dl以上かつ、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
3. 高血圧(血圧上昇):最高血圧130mmHg以上かつ、または最低血圧85mmHg以上
4. 糖尿病:空腹時血糖値110mg/dl以上

※以上の4項目の内、1を満たし、かつ2~4で2つ以上該当するとき、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)と判断されます。

感覚器系検査



●聴力検査

基準となる小さい音(1000Hzなら30dB以下、4000Hzなら40dB以下)が問題なく聞こえているかを調べます。

	基準範囲	要注意	異常
1000Hz	30dB 以下	35dB	40dB 以上
4000Hz	40dB 以下	45dB	50dB 以上

●視力検査

- ・異常なし:1.0以上
- ・要経過観察(生活改善・再検査):0.7~0.9
- ・要治療・要精密検査:0.6以下

循環器系検査

●血圧測定

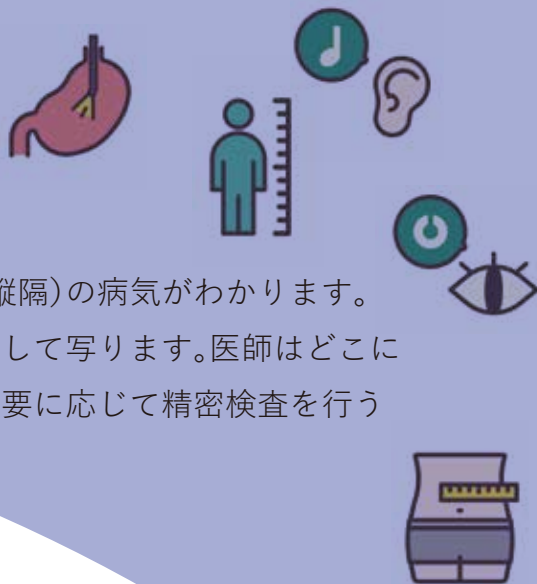
心臓が収縮して血液を送り出すときに、血管壁にかかる圧力は最も高くなり(収縮期血圧)、心臓が拡張したときは血圧が最も低くなります(拡張期血圧)。高血圧は脳血管疾患や虚血性心疾患を引き起こす大きな要因です。

	保健指導判定値	受診勧奨判定値
血圧 (mmHg)	収縮期血圧 130mmHg以上 または 拡張期血圧 85mmHg以上	収縮期血圧 140mmHg以上 または 拡張期血圧 90mmHg以上

●心電図検査

心臓が収縮するときに発生する電気刺激が、心電図の波形として現れます。不整脈・虚血性心疾患・心筋梗塞・心臓の拡大や肥大などの情報が得られます。変形した波形が出現したり、感覚が不規則になると「異常あり」と判定されます。心電図検査で精密検査になったら、診察を受けて治療が必要な病気があるかどうか診断してもらうことが大切です。

呼吸器系検査



●胸部X線検査

胸のレントゲン写真では、左右の肺やその中央部(縦隔)の病気がわかります。肺がんや肺炎、肺結核などの異常があると白い影として写ります。医師はどこにどのような影があるかで疑わしい病気を判断し、必要に応じて精密検査を行うことになります。

超音波検査

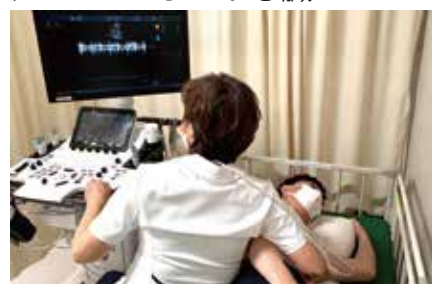
●腹部超音波検査

人の耳には聞こえない高周波の超音波を腹部の表面から内臓に向けて当てて、その反射波を画像化して内臓の様子を調べる検査です。腹部にゼリーを塗って、プローブ(探触子)という器具を当てて調べます。肝臓・胆嚢・脾臓・腎臓などの異常や疾患を早期に見つけることができ、負担が少ない検査です。



●心臓超音波検査

心臓超音波検査は、超音波を用いて心臓の形態や動く様子がリアルタイムで観察することができます。心臓のポンプとしての役割がうまくいっているか？心臓に負荷がかかっていないか？原因や治療効果の確認に幅広く用いられています。



●下肢動脈超音波検査

動脈硬化によって血管が狭くなったり詰まったりして、血流が悪くなる病気に「閉塞性動脈硬化症」があります。足の動脈に狭窄や閉塞しかかっている血管がないかを調べるのが下肢動脈超音波検査です。

●下肢静脈超音波検査

長い間同じ姿勢でいると足の静脈に血のかたまりができ、身体を動かしたとたんに血のかたまり(血栓)が血管を通過して心臓から肺へ行き、肺の血管に詰まってしまう「肺塞栓症」という病気を引き起こします。足の静脈に血のかたまり(血栓)がないかを調べるのが下肢静脈超音波検査です。

医療法人社団 坂梨会

基本理念

よりよき人間性を
よりよき環境を
よりよき医療・介護を

基本方針

1. 患者様と利用者様の人格と尊厳を重んじます。
2. 常に敬語と笑顔で応対します。
3. 自己研鑽につとめ人間性を高めます。
4. お互いに信頼される人間関係を構築します。
5. 医療・介護のプロとして誇りと自覚を忘れません。
6. 快適な医療・介護環境の提供を目指します。
7. 常に整理整頓を心がけ清潔を保ちます。
8. 施設周辺の美化に取り組みます。
9. 多職種チームで協働・支援し、分かりやすい説明を行い、質の高い医療・介護を目指します。
10. 地域の医療機関や介護事業等と連携し最適な医療・介護を提供します

阿梨花病院大津

〒869-1235 熊本県菊池郡大津町室 261-9

TEL:096-293-5000 FAX:096-293-0920

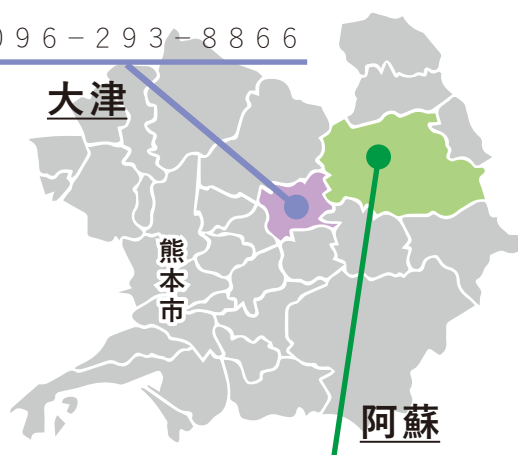
居宅介護支援事業所ケアステーションおおづ 096-243-0002

通所リハビリテーションセンターおおづ 096-243-0200

訪問看護ステーションおおづ 096-294-2838

阿梨花病院大津訪問リハビリテーション 096-293-5000

ライフグラン阿梨花（住宅型有料老人ホーム） 096-293-8866



救急告示病院 阿蘇温泉病院 0967-32-0881

緩和ケア病棟・透析センター 阿蘇温泉病院 別館 0967-32-5250

介護老人保健施設 愛・ライフ内牧 0967-32-5511

地域支援センター 春草苑 0967-32-4021

デイサービスセンター 宝泉郷 0967-32-5488

住宅型有料老人ホーム みずあさぎ 0967-32-1523

社会福祉法人 蘇峯会 ケアハウス 茶寿苑 0967-32-3955